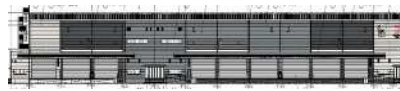


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)DPL小田原 新築工事	階数	地上2F
建設地	小田原市鬼柳半池田219番ほか36筆	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし。	平均居住人員	174人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年06月 予定	評価の実施日	2023年03月23日
敷地面積	24,809 m ²	作成者	㈱福田組東京本社一級建築士事務所
建築面積	12,428 m ²	確認日	2023年04月12日
延床面積	24,563 m ²	確認者	㈱福田組東京本社一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
小田原小田原線富永駅から徒歩24分の工業地域に工場兼用事務所を計画した。	特になし。	
Q1 室内環境 対象外。	Q2 サービス性能 日本住宅性能表示基準「3.劣化の軽減に関すること」で等級2相当。そして、冷媒CUP(C)、給水VLP(B)、給湯SUS(C)、Eは不使用。また、階高3.9m以上。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BEIm=0.43、LED照明設備を採用。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。そして、高規格電炉鋼板を利用している。また、「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。それにOAフロアを利用している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器は採用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される